

□ □ □ - □ □ □ □



むかわ町では

春レタス、トマトの

通年型土壌農業で

独立就農が

できます。



むかわ町地域担い手育成センター

北海道むかわ町の概要

むかわ町は、北海道の胆振管内東部に位置し、東西及び北部の三方が日高山脈系の外縁部に囲まれ、南部は太平洋に面し、全国でも屈指の清流度を誇る一級河川鵒川が南北に縦走しており、海・山・川そして平地と多彩な自然環境に恵まれています。肥沃な大地と緑豊かな自然に恵まれた農業・林業・漁業の第1次産業を基幹とする町です。平成18年3月に「鵒川町」と「穂別町」が合併し「むかわ町」が誕生しました。



面積	712.91 km ²	町の木	「イチイ」「アカエゾマツ」
人口	約8,700人	町の花	「ツツジ」
世帯	約4,300世帯	町の魚	「柳葉魚-ししゃも-」
病院	病院2 歯科6		
学校等	保育所等6 小学校5 中学校2 高校2		
その他	18歳(高校3年生)まで医療費全額支援		

輸送コストなどの優位性があります
 札幌や千歳空港、苫小牧港も近く、生活に便利です

むかわ町へのアクセス
 札幌市内から車で約90分 (高速道路使用)
 ※札幌駅前から、直通の高速バスあり
 千歳空港から車で約45分
 苫小牧市内から車で約40分
 JR 苫小牧駅から JR 鵒川駅まで約30分

むかわ町の自慢



鈴木章先生
 北海道大学名誉教授、むかわ町特別名誉町民
 (2010年ノーベル化学賞受賞)



田畑 真紀 選手
 (2010年バンクーバーオリンピック
 スピードスケート銀メダリスト)



田んぼdeミュージカル委員会
 (高齢者による映画制作)



鵒川高校野球部
 (甲子園に過去3回出場)



恐竜化石の里
 (世界的にも珍しい恐竜化石の発見)
 「ハドロサウルス」

鵒川地区の農業



水稲

良食味米の「ゆめびりか」「ななつぼし」「おぼろづき」などが主に作付けされています。

畑作

大豆～主に納豆用のズマル大豆が作付けされています。
 小豆～あんななどの加工に利用されています。
 甜菜～道内の製糖工場に出荷されています。
 その他、秋小麦、そばなどが作付けされています。

花卉

昭和63年から、複合経営の品目として花の生産が開始されました。現在は、アルストロメリアや、カーネーション、スターチスが栽培の中心です。

肉牛

昭和48年に島根・岡山両県から繁殖用の雌牛を導入し、30年あまりの年月で改良を繰り返しました。現在では肥育素牛として市場で高い評価を得ています。

明治26年から米づくりが始まり、米の単作地帯でしたが、近年は、**複合経営が主流**になっていきました。
 畑作物・野菜・花卉・肉牛を取り入れた

酪農



牧場の数は少ないですが、数種類のチーズ加工に取り組んでいる牧場もあります。

野菜(露地野菜)

馬鈴薯～品種は主に「メイクイン」です。
 カボチャ～「えびすカボチャ」「味平カボチャ」が作付けされています。
 キャベツ～6月下旬から10月中旬まで出荷が続きます。

野菜(施設野菜)

ニラ～1月から4月まで生食用として道内に出荷されます。
 春レタス～共同で育苗し、12月から3月にかけて定植します。3月下旬から5月下旬まで道内各地に出荷されます。
 ほうれん草～通年で出荷されます。1棟のハウスで年間3～4回収穫します。
 トマト～共同で育苗し、6月上旬から定植します。7月下旬から11月上旬まで収穫できる夏秋取りトマトです。共同選果場で箱詰めされ全国に出荷します。



むかわ町での独立就農

施設野菜の通年栽培が可能！

北海道の中でも雪がとても少なく、冬もビニールハウスでの栽培が可能です。
 トマトと春レタスを組み合わせることによって、安定した農業経営が可能です。



安全・安心で品質の高いクリーンな農産物と認められた北海道独自のマークです。

<トマトと春レタスの栽培スケジュール>

出荷ピーク

品目	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
春レタス	→									●	●	●	●	●	●	●	●	●																○			○					
トマト										○			△			○						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									

【栽培規模】

100坪ハウス8棟

【栽培作物】

施設野菜（トマト・春レタス）

【労働力】

夫婦

以上の条件で試算

	(千円)		
	春レタス	トマト	合計
販売収入	2,494	7,200	9,694
営農経費	1,063	3,794	4,857
農業所得	1,431	3,406	4,837
所得率	57%	47%	50%

注) 営農経費には公租公課、借入金の償還金は含まれておりません。

独立就農までの道のり

むかわ町では、農業者や町・JAむかわなど関係機関が一体となり、相談から農業体験、実践研修、就農までを一貫してサポートします。

まずは

就農の相談から

就農相談会や、電話やメール、直接むかわ町にお越しただいての相談も受け付けます。むかわ町に来ていただくと、実際の受入農家や新規就農者・研修生の方と話もでき、自分の就農イメージも膨らむでしょう。

実際にやってみよう！

短期農業体験

(2泊3日～1ヶ月)

農業未経験の方は、農業のことやむかわ町のことを知っていただくため、短期の農業体験から始めます。

体験終了後、むかわ町に移住して長期体験を行うかどうか判断してもらいます。

むかわに移住して

長期農業体験

(3ヶ月～2年程度)

農業の道に向かう決心がいたら、むかわ町に移住して、年間を通じた農業体験に入ります。この間、受入農家から178,000円/月(最低賃金制度により変動あり)の研修手当が支払われます。住宅は、研修生用住宅を用意しています。(家賃：7,000～8,000円)

長期農業体験中…

就農相談 & 就農計画

内容

- 初期投資
- 収支計画
- 労働力
- 作付け内容等

※就農に向けた計画は、むかわ町地域担い手育成センター事務局と相談をしながら、作成していくことができます。



様々な関係機関や農業者のサポートを受けていよいよ独立就農です。むかわ町の場合、春レタスの作付けから行うため、11月就農が一般的です。就農はゴールではなく、これからが農業人としてのスタートです。

長期農業体験終了後

2年間 鵠川研修農場 (実践研修)

独立を目指す方は、研修農場で実践的な研修を行い、就農を目指します。研修は地元農業者や関係機関の技術指導を受けながら、農業者と同じように、作付けから管理、収穫出荷まで実践します。研修手当として、売上げに応じた助成金が交付されます。但し農場利用料もかかります。この間に、就農地についても関係機関や地元農業者と協議していきます。

※独立就農の他、農業法人での雇用就農や第三者継承の相談にも応じます。



むかわ町 新規就農の取り組み



安心の相談体制！

就農の相談は「むかわ町地域担い手育成センター」へ。体験・就農地・資金制度などワンストップで対応します。町とJAの専門職員がきめ細やかに対応します。体験・研修中も定期的に個別相談を行います。



恵まれた気候と 確立された作型！

冬は雪が少なく、夏は冷涼な気候のもと、年間を通じた施設野菜の栽培方法が確立されています。これまで独立した新規就農者は、春レタスとトマトの栽培で、安定した収益を上げています。



充実の受入体制！

農業者で組織する「むかわ町新規就農等受入協議会」は、稲作、畑作、施設野菜、露地野菜、花卉、肉牛、酪農と様々な形態の農家が会員になっています。年間を通じて、2泊3日の短期体験から一年を通じた長期体験まで希望に応じた農業体験が可能です。



研修農場完備！

むかわ町で、長期農業体験を行い、独立に向かう方は、関係機関の審査の上、研修農場(100坪ハウス・11棟)で実践的な研修を行うことができます。

- ・研修農場修了者の就農率は100%
- ・地元農業者や関係機関のサポートも充実
- ・売り上げに応じた助成金の交付あり！



農業講習会で仲間作り！

長期農業体験や実践研修の期間中、農業講習会で、農業の基礎知識を学びます。独立就農を目指す方には、プロフェッショナルコースを用意し、さらに知識を高めます。農業者を目指すたくさんの仲間と交流会を通じて情報交換等しながら、仲間作りを行っています。



資金面の支援もお任せ！

国の補助事業、借入金及び研修(体験)中の青年就農給付金(準備型)※などの制度を熟知したスタッフが相談に応じます。むかわ町では、独立したときに300万円を交付する制度があります。

※就農予定時の年齢が45才未満の方

まずはご相談ください。あなたの熱い気持ちを待っています！



お問い合わせ

〒054-0051
北海道勇払郡むかわ町文京2丁目2-1
むかわ町鶴川農業センター内

TEL 0145-42-5588 / FAX 0145-42-4235
URL <http://www.mukawa-ninaite.jp/>
Email mukawa-ninaite@theia.ocn.ne.jp



ホームページ
QRコード